

当院で成人脊柱変形で手術治療を受けた  
患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター整形外科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）や検査結果を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

**本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。**

【研究課題名】

長範囲固定術後固定上端での椎体骨折発生の独立した危険因子の検討；成人脊柱変形手術患者の生存分析

【研究の背景と目的】

成人脊柱変形症は、社会の高齢化に伴い増加傾向でありこの10年ほどで手術対象患者は増加しています。同時に成人脊柱変形の病態解明が進み、手術合併症の対策も飛躍的に改善しました。しかしながら長範囲矯正固定後に固定近位端で骨折を伴う変形の進行については、術後骨折がいつごろ発生し、どのような因子が関連しているのかについて詳細に調査した報告は少なく、未解決の問題となっています。本研究は成人脊柱変形で手術を行った患者さんのカルテを調査して術後に固定近位端で発生する骨折の原因となる要素を調査します。

【対象となる方】

2012/1/1 から 2030/3/31 の期間内に当院で以下の疾患で手術をした患者さん。

特発性側弯症および特発性側弯症の遺残変形、De novo 脊柱変形、後弯症、医原性脊柱変形

【使用する診療情報】

患者情報（年齢、性別、既往歴、BMI）、画像検査結果、手術情報（固定範囲、矯正角度）、患者立脚型アンケート、血液検査結果、生理機能検査結果

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認日から 2030 年 3 月 31 日まで実施され、約 350 名の患者さんにご参加いただく予定です。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本整形外科学会誌へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科 片柳 順也 准教授

【問い合わせ先】

獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科 担当者：片柳 順也 准教授 PHS:1414  
埼玉県越谷市南越谷 2-1-50 電話番号：048-965-8545（医局直通） 平日 9:00-17:00

以上